

# 大学院講義

第5回

医療事故と損害保険

# 医療に関する損害保険の例

<http://www.cabrain.net/songai/>

- 勤務医師賠償責任保険
- 歯科医師賠償責任保険
- 看護師損害賠償保険
- 病院賠償責任保険
- 薬剤師賠償責任保険
- 個人情報漏えい保険

# 保険料

<http://www.cabrain.net/songai/>

- 勤務医損害賠償保険  
–対人1億円で50,820円/年
  
- 看護師損害賠償保険：  
–対人1億円で5,970円/年

# 逸失利益(死亡時)

<http://www5d.biglobe.ne.jp/Jusl/IssituRieki/IssituRieki2.html>

- 死亡逸失利益＝  
基礎収入（年収） × （1－生活費控除率） × 中間利息控除係数
- 中間利息控除係数：
  - － ホフマン係数
  - － ライプニッツ係数

# 損害賠償の計算式

- 賃金を根拠とした損害賠償の係数
  - 将来の利益：割引の必要
    - ホフマン係数：単利で計算
    - ライプニッツ係数：複利で計算

# 毎年200万円の利益(収入)が 15年間生じるときの計算方法

- 年利5%の時

- ホフマン係数:

- $X = 2000000/(1+1 \times 0.05) + 2000000/(1+2 \times 0.05) + 2000000/(1+3 \times 0.05) + 2000000/(1+4 \times 0.05) \dots + 2000000/(1+15 \times 0.05) = 2196万1670円$

- ライプニッツ係数

- $X = 2000000/(1+0.05)^1 + 2000000/(1+0.05)^2 + 2000000/(1+0.05)^3 + 2000000/(1+0.05)^4 \dots + 2000000/(1+0.05)^{15} = 2075万9316円$

### ライフニッツ係数表 (18歳以上)

年令	就労可能年数	係数	年令	就労可能年数	係数	年令	就労可能年数	係数	年令	就労可能年数	係数
18	49	18.169	39	28	14.898	60	11	8.306	81	4	3.546
19	48	18.077	40	27	14.643	61	10	7.722	82	4	3.546
20	47	17.981	41	26	14.375	62	10	7.722	83	3	2.723
21	46	17.880	42	25	14.094	63	9	7.108	84	3	2.723
22	45	17.774	43	24	13.799	64	9	7.108	85	3	2.723
23	44	17.663	44	23	13.489	65	9	7.108	86	3	2.723
24	43	17.546	45	22	13.163	66	8	6.463	87	3	2.723
25	42	17.423	46	21	12.821	67	8	6.463	88	3	2.723
26	41	17.294	47	20	12.462	68	8	6.463	89	2	1.859
27	40	17.159	48	19	12.085	69	7	5.786	90	2	1.859
28	39	17.017	49	18	11.690	70	7	5.786	91	2	1.859
29	38	16.868	50	17	11.274	71	7	5.786	92	2	1.859
30	37	16.711	51	16	10.838	72	6	5.076	93	2	1.859
31	36	16.547	52	15	10.380	73	6	5.076	94	2	1.859
32	35	16.374	53	14	9.899	74	6	5.076	95	2	1.859
33	34	16.193	54	13	9.394	75	5	4.329	96	2	1.859
34	33	16.003	55	13	9.394	76	5	4.329	97	2	1.859
35	32	15.803	56	12	8.863	77	5	4.329	98	2	1.859
36	31	15.593	57	12	8.863	78	5	4.329	99	2	1.859
37	30	15.372	58	11	8.306	79	4	3.546	100	1	0.952
									~		
38	29	15.141	59	11	8.306	80	4	3.546			

# 無過失補償制度

- 加害者の存在の有無に関わらず、事故被害者に対して補償。
- 2009年、重度の脳性麻痺に対する産科無過失補償制度が初めて日本で導入  
(28週以上で酸血症や徐脈の事例も入るが、以下の通り)
  - 出生体重2000グラム以上、
  - 妊娠33週以上
  - 身体障害者等級1～2級相当の重度脳性まひを発症した場合
  - 遺伝子異常など先天性要因による脳性まひは対象外。
- 補償金
  - 総額3000万円  
(一時金600万円、20歳まで毎年120万円)

# 医療訴訟の平均審理期間

[http://www.courts.go.jp/saikosai/about/iinkai/izikankei/toukei\\_01.html](http://www.courts.go.jp/saikosai/about/iinkai/izikankei/toukei_01.html)

(平成12年～平成21年)

年	新 受	既 済	平均審理期間 (月)
平成12年	795	691	35.6
平成13年	824	722	32.6
平成14年	906	869	30.9
平成15年	1,003	1,035	27.7
平成16年	1,110	1,004	27.3
平成17年	999	1,062	26.9
平成18年	913	1,139	25.1
平成19年	944	1,027	23.6
平成20年	877	986	24.0
平成21年	733	952	25.2

# 検察審査会法の改正

<http://www.courts.go.jp/about/sihonomado/pdf/mado73/08.pdf>

- 「医師を必ず起訴」という新ルートが誕生
- 起訴議決制度
  - 検察審査会で議決して起訴相当としても検察官が起訴しないときに、再度審査を行い、起訴相当となれば、被疑者は必ず起訴される。
- 萎縮医療がはびこる危険性

# 世界の医師への訴訟比率

JAMA. 2001;285:1632-1640

- 日本(1998): 0.25件/100人医師・年
- イギリス(1990): 10.5件/100人医師・年
- アメリカ(1994): 14.4件/ 100人医師・年
- ドイツ(1995): 25.1 件/ 100人医師・年

日本では民事ではなく、刑事事件となりうる  
(業務上過失致死など)が問題。